

高校生パーソナリティーの質問に答える
工藤さん（左）と甲地さん



「ラジオ石巻」に出演 オープンキャンパスをPR

学生スタッフ 甲地さん、工藤さん

理工学部の甲地由樹さん（3年次・青森県青森東高）と工藤萌花さん（2年次・宮城県石巻北高）が「ラジオ石巻」の番組に出演し、6月から始まるオープンキャンパスの魅力伝えた。

2人が出演したのは、地元の高校生がパーソナリティーを務める「石巻市放送部高校生ラジオ」のオープンキャンパスの学生スタッフとして活動する甲地さんと工藤さんは番組内で、本学ならではの企画やプログラムの見どころを分かりやすく紹介した。

入門講座を視聴する学生たち



公務員試験入門講座が視聴可能に
専大と連携 講義動画が視聴可能に
公務員試験入門講座が5月より視聴できるようになった。

5月11日、「仙台国際ハーフマラソン」功労者への感謝状授与式が仙台市内で行われ、本学女子競走部の泉田利治監督に、大会実行委員会より感謝状が授与された。

泉田監督は、第1回大会（1991年）から長年にわたり有力選手の招待に尽力してきた。

女子競走部 泉田監督に感謝状



泉田監督（右）に大会スペシャルアンバサダーの高橋尚子さんが感謝状を授与

2024年度学生数

※5月1日現在

◆学部◆	学 部	学 科	人 数
	理 工	食 環 境	8
		生 物 科	316
		機 械 工	78
		情 報 電 子 工	125
		小 計	527
	経 営	経 営	423
		情報マネジメント	86
		小 計	509
	人 間	人 間 文 化	113
人 間 教 育		89	
小 計		202	
合 計			1,238

◆大学院◆

課程	研究科	専攻	人数
修士	理工学	物質工学	2
		生命科学	7
	経営学	経営学	1
合計			10

課程	研究科	専攻	人数
博士後期	理工学	物質機能工学	0
		生命環境科学	1
	経営学	経営学	2
合計			3

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/isinomaki/>

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

最新の
情報は
大学HPで。

高大連携

石巻好文館高で特別講座

三木教授による全体講義では研究を始めるうえで大切なことを伝えた

「こめぼこ商品化プロジェクト」の合同田植え



とめ方などを説明。第2部では、6分野の教員がそれぞれの研究分野などを分かりやすく紹介した。高校生たちは熱心に耳を傾け、これから行う自らの研究活動に向けて意識を高めていた。

各校とも活発に連携事業を推進している。4月26日には宮城県気仙沼市洋高、5月28日には宮城県石巻西高校の生徒が来学し、模擬授業を体験した。また5月21日には、恒例の「こめぼこ商品化プロジェクト」の一環として、宮城県石巻北高校、宮城県水産高校との合同田植えが行われた。

サークル勧誘



5月14日から4日間、学生会主催の第2回サークル勧誘が行われた。延べ32団体がブースを設け、活動紹介など、新入生にアピールした。

生物系区分の採択率は22%
大学院理工学研究科生命科学専攻の海洋ベントス学研究室（研究指導教員：阿部博和准教授）に所属する修士課程1年次の大見川遥さんと小田晴翔さんの研究課題が、公益財団法人日本科学協会の「2024年度笹川科学研究助成」に採択された。研究課題名は「海のダンゴムシはなぜ丸くなるのか？」（大見川さん）、「すね毛×脚タックロペンケイガニ：形態から考える社会行動の進化」（小田さん）。



助成決定通知書を手にする
大見川さん（左）と小田さん

同研究助成は、大学院新規性のある研究を支援する。24年度の申請総数は1395件。2人が申請した生物系区分は71件、採択率は15.6%に球体化する種とワラジムシのように球体化しない種に分かれた理由を解明したい。今後は陸上にも範囲を広げ、研究を進展させていく」と展望を語った。

小田さんは「クロベンケイガニの形態的特徴と社会行動に着目し、その関連性を検証する内容・計画が評価されてうれしい」と喜び、「期待に応える成果をあげられるように精進したい」と力強く話した。

本学では高大連携事業の一環として、2014年度から毎年、宮城県石巻好文館高校で特別活動を行っている。同校の「総合的な探究の時間」における高校生の主体的な研究をサポートしている。

4月27日、今年度第1回目の講座が、同校の2

で、採択率は22%だった。採択を受けて大見川さんは、「研究を通じて、等脚類がダンゴムシのように球体化する種とワラジムシのように球体化しない種に分かれた理由を解明したい。今後は陸上にも範囲を広げ、研究を進展させていく」と展望を語った。

同研究助成は、大学院新規性のある研究を支援する。24年度の申請総数は1395件。2人が申請した生物系区分は71件、採択率は15.6%